

野良ネコ集団に驚

JR新神戸駅

の天井裏に入り込んで出産するなど、したたかなところをみせているが、もとはと言えは、勝手な人間が捨てたネコ。市などは「飼う以上、責任をもつて」と呼びかけている。

JR新神戸駅の話では、ハイキングコース付近のネコが駅舎内にまで入り込む

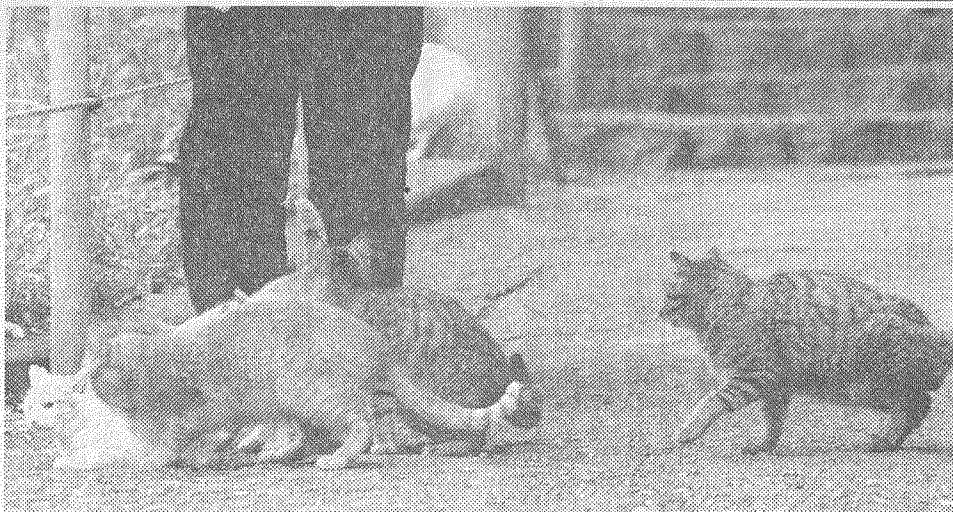
「飼い主は責任を」

と。かゆくなつた駅員もおり、仕方なく、天井裏にいたネコを引っ張りだして、消毒した、という。

いったい、あたりに何匹ぐらい野良ネコがすみついているかは不明だが、神戸市中部土木事務所の話では、一度に十匹以上も集団で現れることがあるという。担当者は「高齢化に伴い、話し相手にネコを飼う独り暮らしのお年寄りも増え、その分、捨てネコも増えているのでは」と推測。「ネコはイヌと違って捕獲されないから増えるのでしょ」と言う。

確かに、市動物管理センターに一九九〇年度一年間に持ち込まれたネコは九千百九十二匹。十年前に比べると、減少傾向のイヌとは逆に三千匹以上増えている。同センターは「避妊手術をするなど飼う以上は人間が責任をもつべき。飼い方などで困ったら、センターでも相談を受け付けているので利用してほしい」と話している。

ハイキングコースにたむろする野良ネコの群れ
――神戸市中央区の布引公園で



「実験動物の叫び聞いて」

動物好きでなくても目を 二十日から、神戸市中央「蝶屋」で始めに体を固定されたサル、背けたくなるような写真展。区栄町通二丁目の南京町ギン。題して「衝撃の動物実験 視界を限定する実験で片目

料。
展示されるのは、
放射線を照射するた

20日
市民

駒井さんらは「私たちが目を見て、まずは実験の道具にされる動物たちはいつまでたってもこの苦しみから逃れることができない。写真を通して密室の動物の叫びを聞いてもらえませんか」と、参加を呼びかけてい